

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 2021年1月18日

(2)調査対象期間 2020年10月～12月期の実績および2021年1月～3月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	15社	50.0%
水産業部会	30社	19社	63.3%
機械工業部会	30社	16社	53.3%
建設業部会	30社	18社	60.0%
観光・サービス業+諸業部会	30社	22社	73.3%
合計	150社	90件	60.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－前期より回復するも前年比では大幅な悪化、次期は再び大幅悪化の見通し－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業業景況調査の**今期(2020(令和2)年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲27.8**と前回調査時の▲42.1より**14.3ポイント回復**となりました。

部会別に前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前年DI値▲40.0→今期▲66.7]、水産業[前年DI値33.3→今期15.7]、機械工業[前年DI値▲21.5→今期0.0]、建設業[前年DI値0.0→今期▲33.3]、観光・サービス・諸業[前年DI値▲6.6→今期▲54.5]となりました。

今回の調査では、**機械工業のみ前年同期より業況が「回復」し、その他業種は「悪化」となりました**。新型コロナウイルス感染拡大を受け、不要不急の外出自粛やGoToキャンペーン事業の一時休止により、観光客のキャンセルや忘新年会等の宴会が中止され、観光サービス業や商業・食品業では需要の停滞が深刻化しています。一方で、昨年よりも更に順調に推移している紋別市のふるさと納税により、水産業は好調となっていますが、増加する受注に対応するための「従業員の確保難」や「原材料の不足」を訴える声が多く寄せられています。しかしながら、全業種を通し、金融機関の柔軟な貸出姿勢や国・道・市による各種支援金により、資金繰りの状況は以前よりも好転している傾向にありますが、それら給付金等も固定費でどんどん減っているとの声もあります。

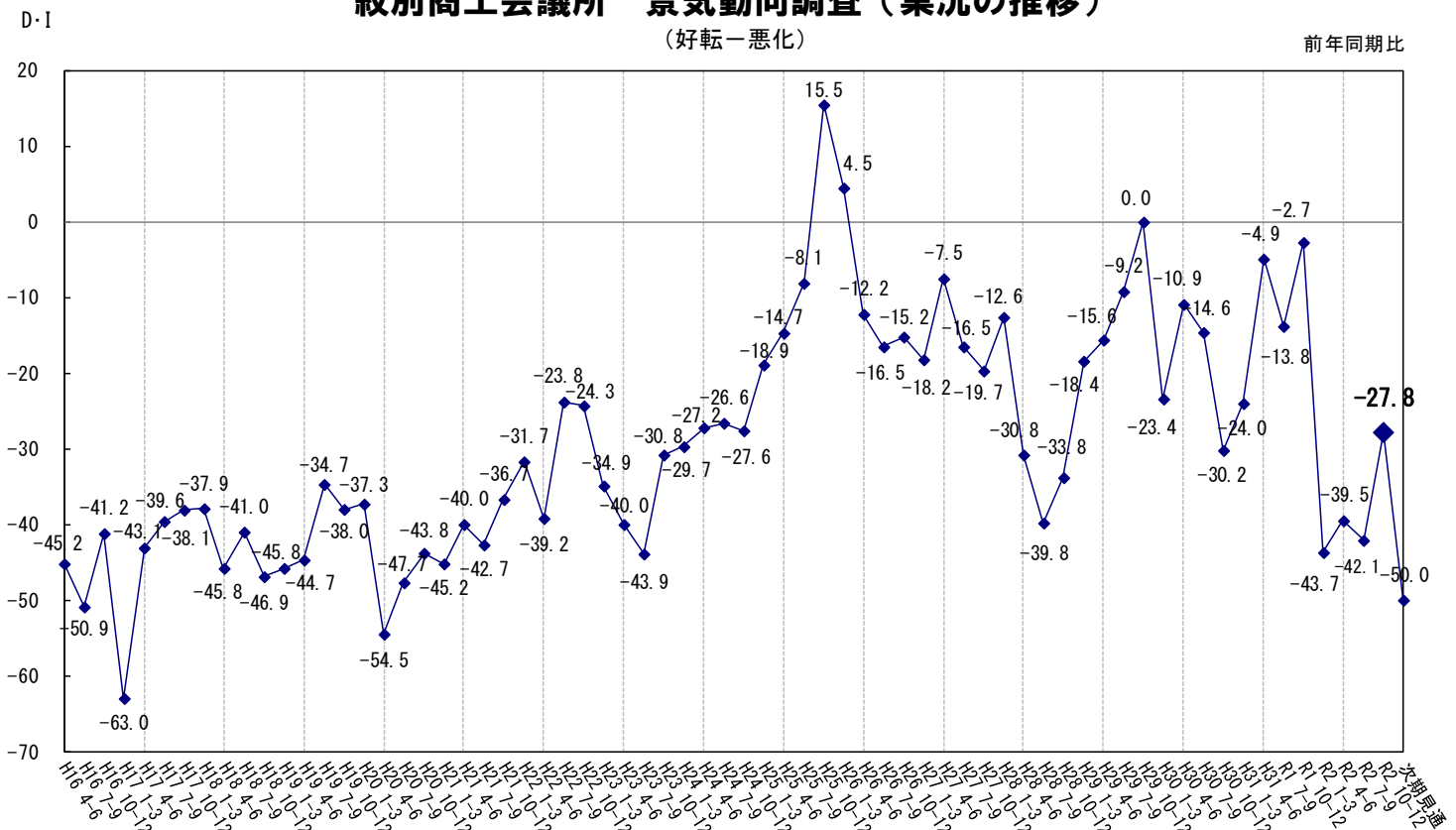
次期(2021年1月～3月)については、**業況判断DIが▲50.0と再び大幅に悪化する**との予測となっています。また、北海道知事より感染拡大を食い止めるための集中対策期間が呼び掛けられたことに加え、本調査の集計した1月に紋別市で新型コロナウイルスによる感染者が確認されたことから、経済活動への影響等が懸念されますが、今後、順次接種が始まるワクチンの効果及び新型コロナウイルスの一日も早い終息を切に願います。

まずは、医療従事者や感染予防等について尽力されている方々へ感謝しつつ、新型コロナウイルスに感染された方々の一日も早い回復をお祈りいたします。

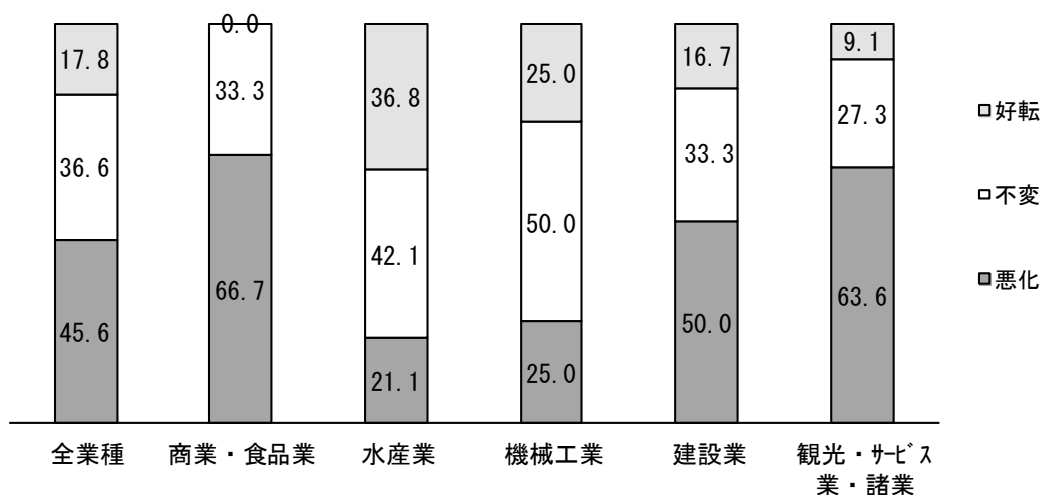
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「**需要の停滞**」「**従業員・熟練従業員の確保難**」「**原材料・材料価格の上昇**」を訴える声が多くなっています。

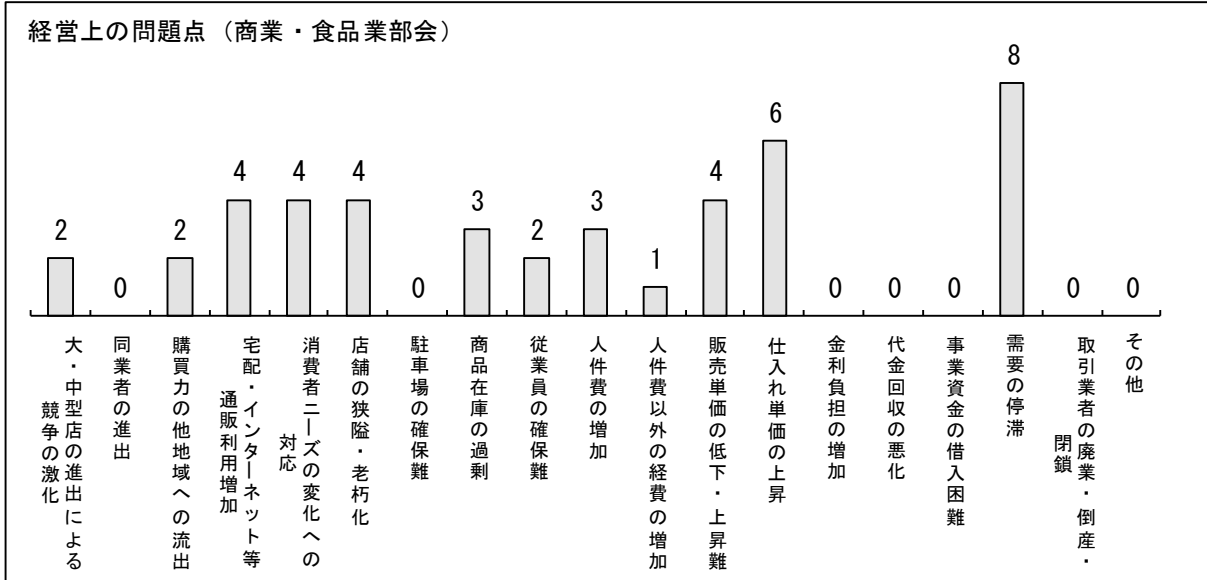
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲66.7（前年 DI 値▲40.0、来期見通し▲60.0）〕

業況 DI 値（前年同期比）は、前年同期と比べ 26.7 ポイントの悪化となりました。新型コロナウイルスの影響による巣ごもり生活で、食料品小売等では一部業況が良くなっているとの回答もありましたが、衣料品や酒類を中心に販売している店舗については、旅行や会合の取りやめによる影響が色濃く、また、働き方の変化に伴う事務用品等の消費にも影響が生じ、業況が悪化している様子もうかがえます。来期見通しは、今期より更に悪化するとの回答が多くなっています。経営上の問題点としては「**需要の停滞**」「**仕入単価の上昇**」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・営業所の閉鎖で営業マンが来店しない。（医薬品小売）
- ・当店は年配の女性のお客が多いせいか、新型コロナウイルスに敏感になっている方が非常に多いように思います。その為、必然的に来店客数が減少しています。（衣料品小売）
- ・飲食店ばかり重視され、それに伴う卸売業も苦しいと思いますし、色んな業種が苦戦を強いられている今、市の対応が一定業種にだけ向けられるのはおかしいのでは！当店の様なアパレルも、団体旅行やイベントの中止、外出自粛により出掛ける事がなくなった為、新しい洋服の必要性がなくなった事から、大きな影響が出ています。もっと広く目を向けて欲しいです。（衣料品小売）
- ・GOTOキャンペーン停止による客数の大幅減少。非常事態宣言から地方のお客様が激減。厳しい経営環境。（食料品小売）
- ・入店時にマスクをしていないお客が多く困っている。（食料品等小売）
- ・自身の業界は消費を大幅に減らせない業界なので、切迫した状況ではないが、飲食、外食の皆さんに手を差し伸べてあげて頂きたい。（食料品等小売）
- ・飲食店に感染者が出た時点で、物も人も何もかも麻痺する。（食料品小売）
- ・近隣地域から他地域への移動（引っ越し）によって客の減少が多くなり、それに伴って売上の大幅減が予想される。（食料品小売）

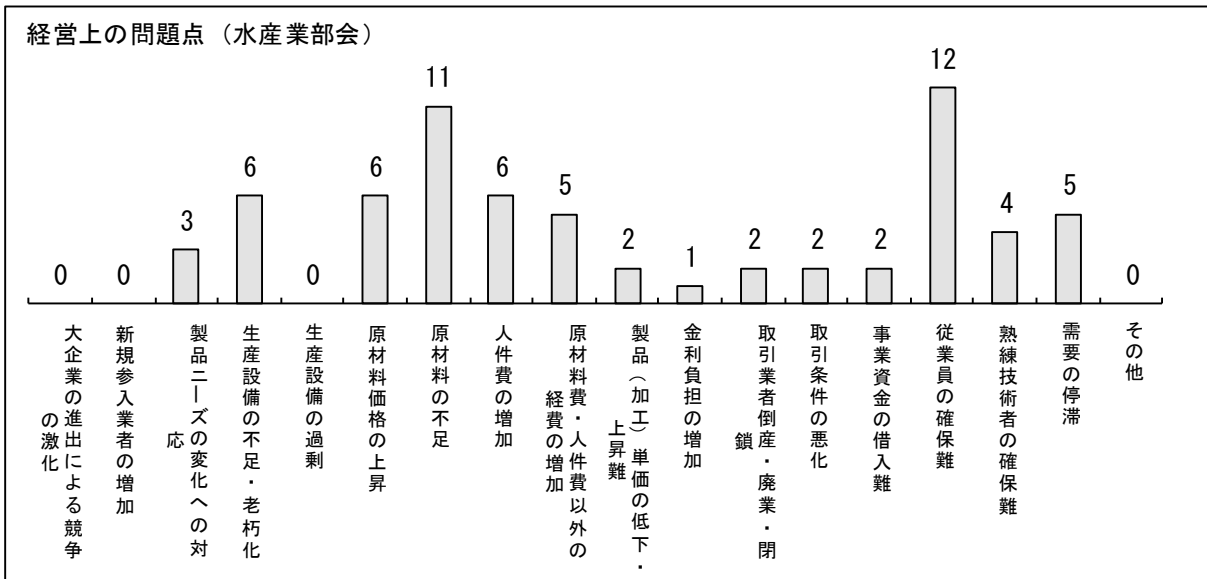


【水産業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）15.7（前年DI値33.3、来期見通し▲42.1）]

業況判断DI値（前年同期比）は17.6ポイント悪化しました。ふるさと納税が2019年度に道内1位、全国でも3位の納税額となったことから注目される機会も増加し、加えて、新型コロナウイルスによる外出自粛で、自宅で過ごすことが増えた事により、更に需要が伸びている様子がうかがえます。一方で、取扱い品目の違いによっては、需要の停滞や原材料の不足等から大きく業況が悪化している、との回答も寄せられています。次期の見通しは▲42.1と57.8ポイントの大幅な悪化を示しています。流氷の到来による休漁期に加え、ふるさと納税が年末に集中する事から、その反動も影響しているものと思われます。経営上の問題点としては「従業員の確保難」「原材料の不足」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・納税猶予の延長を！（水産加工業）
- ・ツアー中止等（水産加工業）
- ・原料不足による生産減により、在庫不足の状況が続いている。新型コロナウイルスの影響は得意先様の業務内容により明暗が分かれている。競合する海外製品も含めて、今後の販売において、感染状況の影響は避けられず、早期の終息に期待しつつ、社内健康管理を徹底していく。（水産加工業）

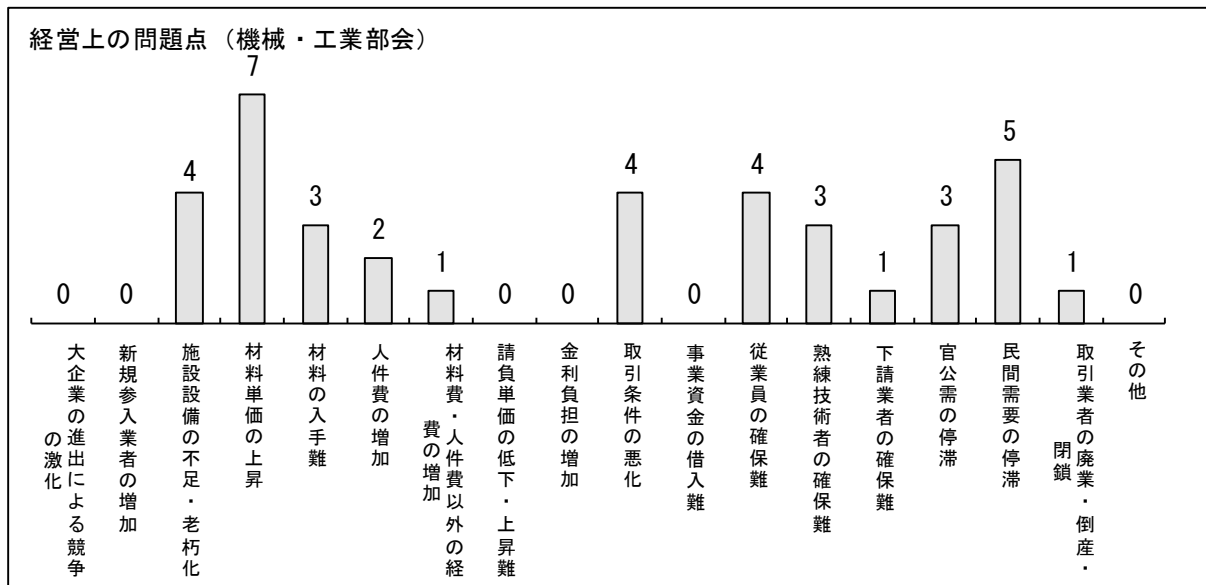


【機械工業部会】 [業況判断 DI 値（前年同期比）**0.0**（前年 DI 値▲21.5、来期見通し▲50.0）]

業況判断 DI 値（前年同期比）は、21.5 ポイント回復となりました。今期、前年同期と比較して「不変」との回答が多くなりました。自動車販売関連や今期好況であった水産資材関連では、好転との回答となっています。しかしながら、取引条件の悪化の中、材料単価等、経費の増加が業況を悪化させているといった回答も寄せられました。次期業況見通しは▲50.0 と再び大きく悪化の見通しとなっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「民間需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・今期の実績は若干上向き傾向ですが、ひとり親方のため、搬入・搬出での人件費の増加が目立ち、次期の人件費増加が営業にかなり響く事が心配の要素です。（室内装飾製造業）
- ・新型コロナウイルス感染対策について、目前に迫ったこの状況になっても今ひとつ感染対策に対しての意識が甘い。とりあえずマスクを着用していれば…的な感じ。手指消毒など徹底して行うぐらいの呼びかけを企業のトップなどリーダーになる方々が意識して声掛けするように促して欲しい。とにかく過剰な位の呼びかけをしていかなければ、経済を動かしながら感染対策など不可能。やれる事からすぐに動いていかないと。なってからでは遅いです。紋別市を見てみると「なってから」にしか見えません。会議所も企業を守るため、これからもどんどんアピールして欲しいです。（機械修理販売）

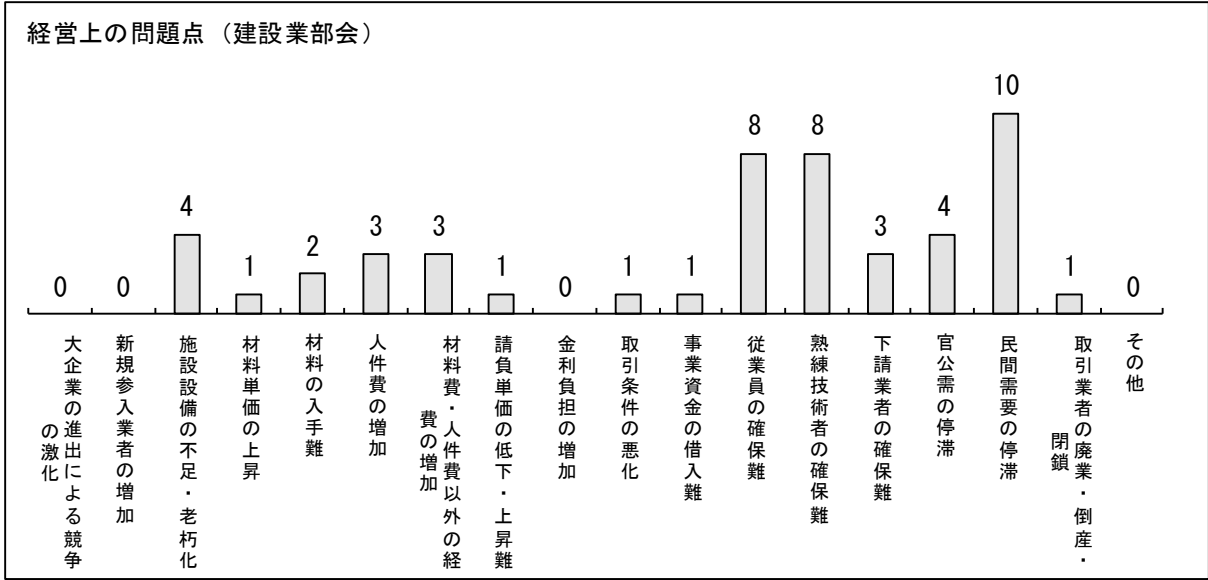


【建設業部会】 [業況判断 DI 値（前年同期比）▲**33.3**（前年 DI 値 0.0、来期見通し▲27.8）]

業況判断 DI 値（前年同期比）は 33.3 ポイントの悪化となり、再びマイナスの値となりました。新型コロナの影響で発注元から「工事はコロナが落ち着いてから」など、今期の売上に繋がらないといった回答や、現場や移動時のコロナの感染対策により、通常よりも多く車両を使用しなければならない等、新たな経費も業況の悪化に繋がっているとの切実な意見が寄せられています。次期は DI 値が▲27.8 とやや悪化の見通しとなっています。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「従業員・熟練技術者の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・全ての業種で動きの低迷がある。コロナによる影響もある。（設備工事）
- ・市発注による土木工事の減少。コロナ感染症対策の費用を設計に入れて欲しい。現場通勤車両の定員を半分にして密対策をしている。（土木工事業）
- ・コロナ感染対策をしながらの現場作業は、神経の疲れが大変みたいです。見積もりは来るけど、決まってもコロナが落ち着いてからでも、という建築屋さんもいます。（電気工事業）



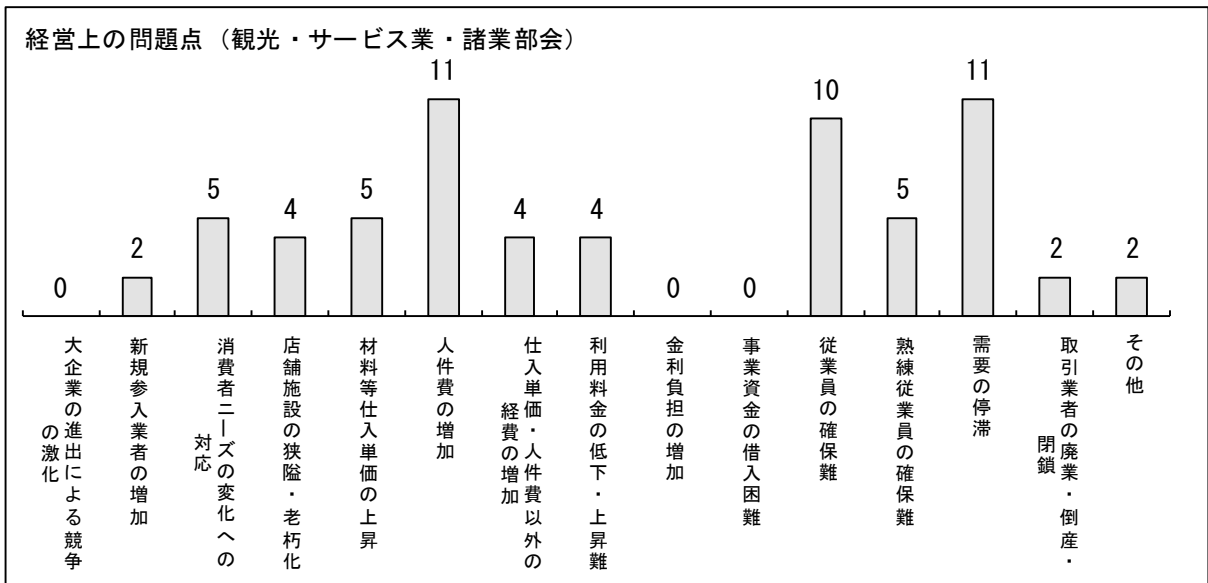
【観光・サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲54.5

（前年DI値▲6.6、来期見通し▲68.2）

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも47.9ポイントの悪化となりました。北海道で新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあったことから、GoToT トラベル、イートともに販売が休止となり、やや回復傾向にあった業況も再び大きな悪化の値となりました。忘新年会の中止に加え、少人数での集まりも自粛傾向となり、飲食業、タクシー等旅客運送を中心に大きな影響を受けています。また、比較的高齢の方が利用する機会の多い理美容でも、感染リスクを回避する為、常連客の利用頻度が減少傾向にあるとの声が寄せられています。来期はDI値▲68.2と更に悪化する見通しとなっています。経営上の問題点としては、「需要の停滞」「人件費の増加」「従業員の確保難」を訴えるが多くなっておりあります。

《業界の問題点等》

- ・コロナで御客が出てこないため収入減。コロナ感染症の報道の強弱で御客の入り方が極端に違う。特に紋別でコロナ感染者が出てからは、お客さんが全く居なくなった。死活問題です。（旅客運送業）
- ・コロナのニュース、政府の方針等により客足が右往左往している感じ。また、地元での患者発生のニュースで客足が極端に遠のく感じ。今年の経営が心配。（飲食業）
- ・2020年の忘年会、2021年の新年会まるで入らず。宴会でどうにか採算が取れていた状況なので、困りました。（飲食業）
- ・コロナが終息するまで体力が持つかが心配。（飲食業）
- ・コロナ禍による需要の低下。（旅客運送業）
- ・緊急事態宣言が道内で始まらなくても人の動きが弱い手前、始まったらと考えると恐怖すら感じるの、柔軟な支援対策を願います。（旅客運送業）
- ・行事がない事等（理美容業）
- ・国からの文書、報告書等が多すぎて対応が追い付かず、実務に支障をきたしている。（介護福祉サービス）
- ・予測不能（不動産）

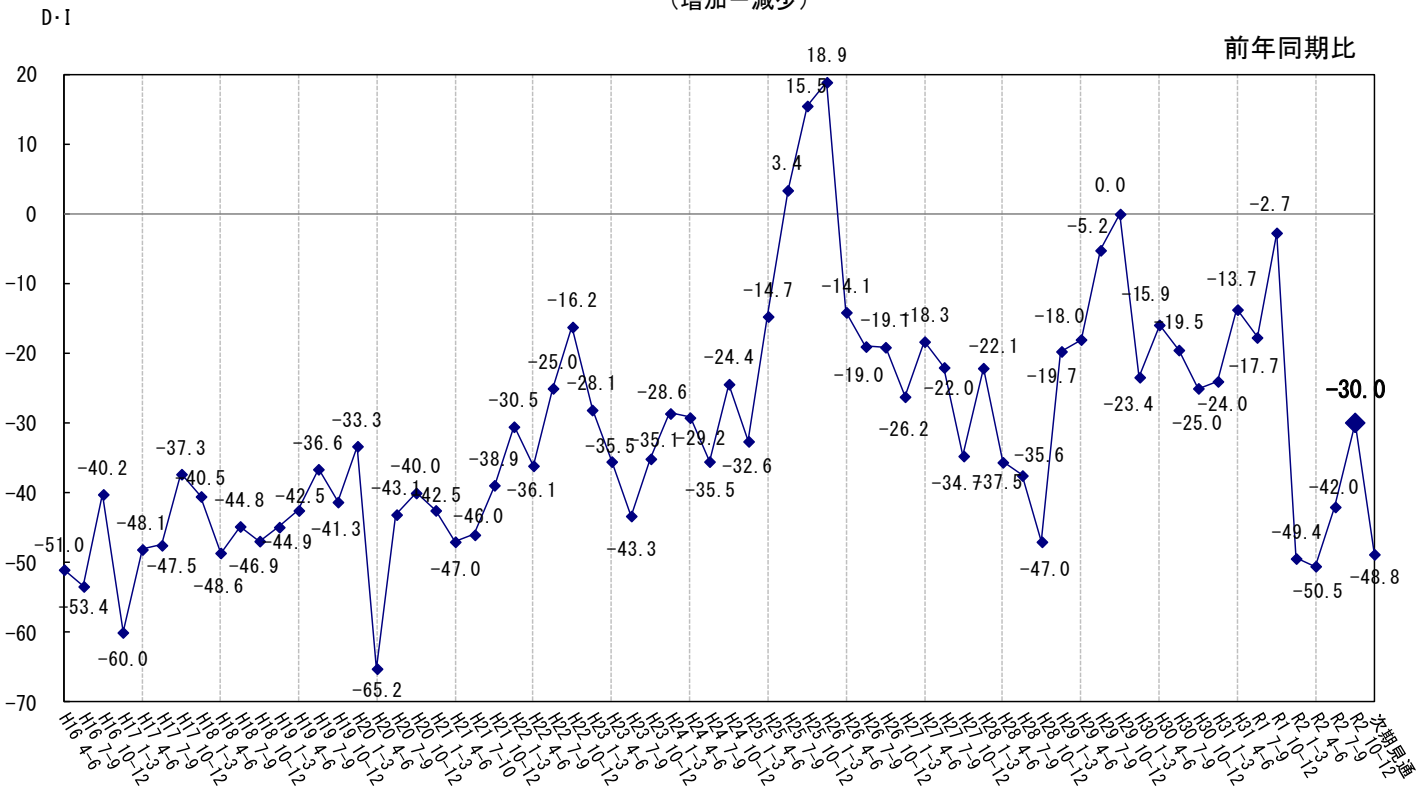


2. 今期の動向

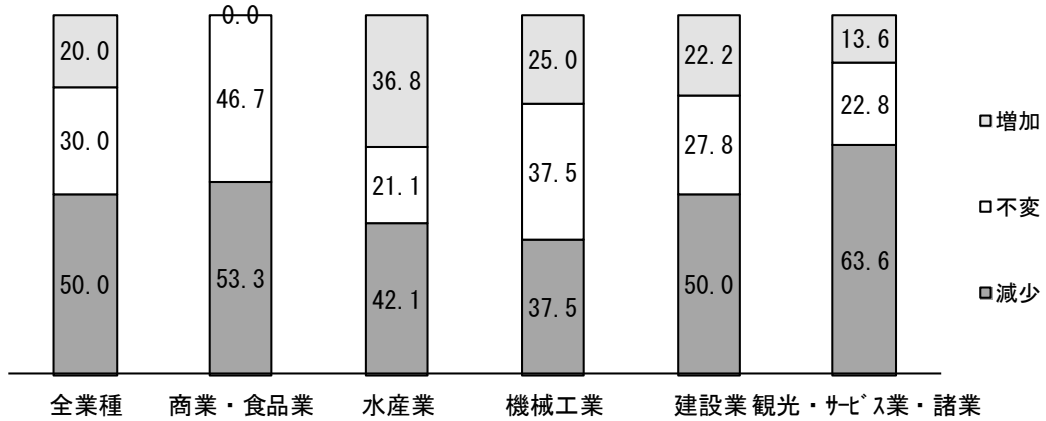
(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（2019（令和元）年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I） （増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲30.0〔前年調査時（令和元年10～12月期 ▲2.7）より27.3ポイント悪化〕機械工業は回復。その他の業種は悪化。

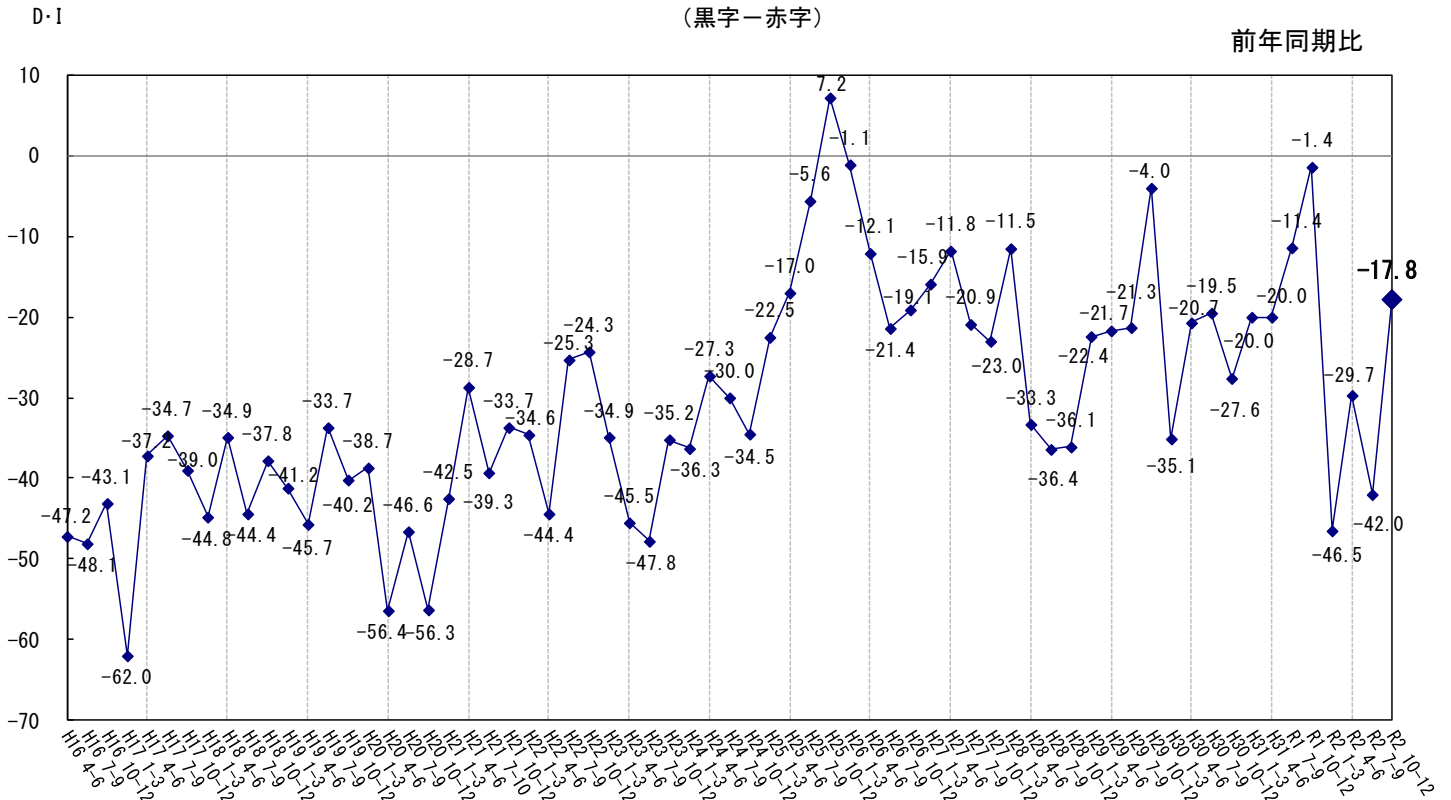
【部会別DI値】 商業・食品業〔前年▲50.0→▲53.3〕、水産業〔前年22.2→▲5.3〕
 機械工業〔前年▲21.5→▲12.5〕、建設業〔前年▲6.7→▲27.8〕
 観光・サービス業・諸業〔前年20.0→▲50.0〕

(2) 今期の採算

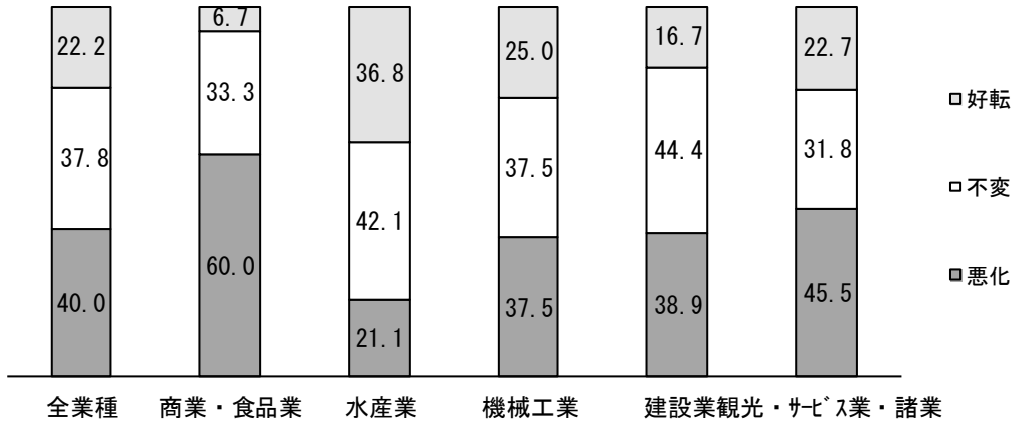
【前年同期比】（2019（令和元）年10月～12月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字＝赤字）



今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値▲17.8〔前年調査時（令和元年10～12月期▲1.4）より16.4ポイント悪化〕機械工業は回復。その他の業種は悪化。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲20.0→▲53.3〕、水産業〔前年22.2→15.7〕
 機械工業〔前年▲21.5→▲12.5〕、建設業〔前年0.0→▲22.2〕
 観光・サービス業・諸業〔前年0.0→▲22.8〕

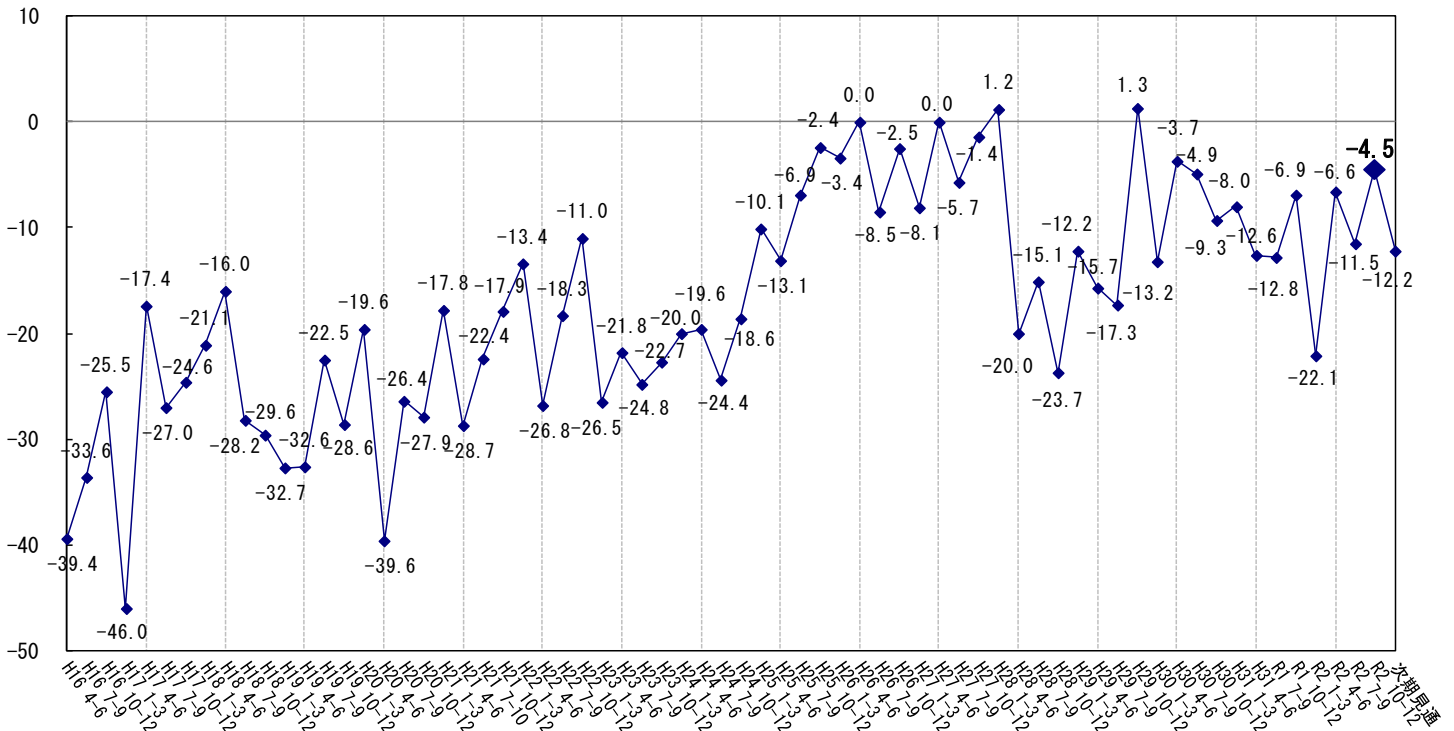
(3) 今期の資金繰り

〔前年同期比〕（2019（令和元）年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）

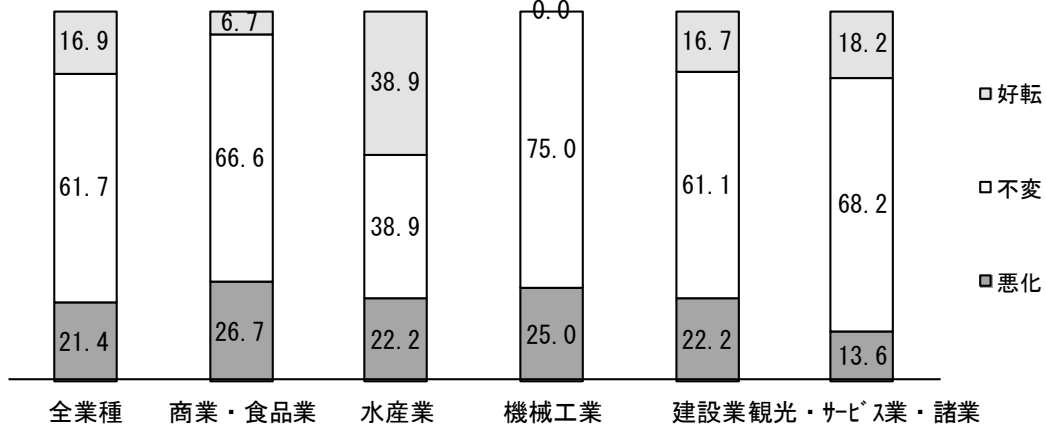
資金繰り推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）

前年同期比



今期の資金繰り（前年同期比）



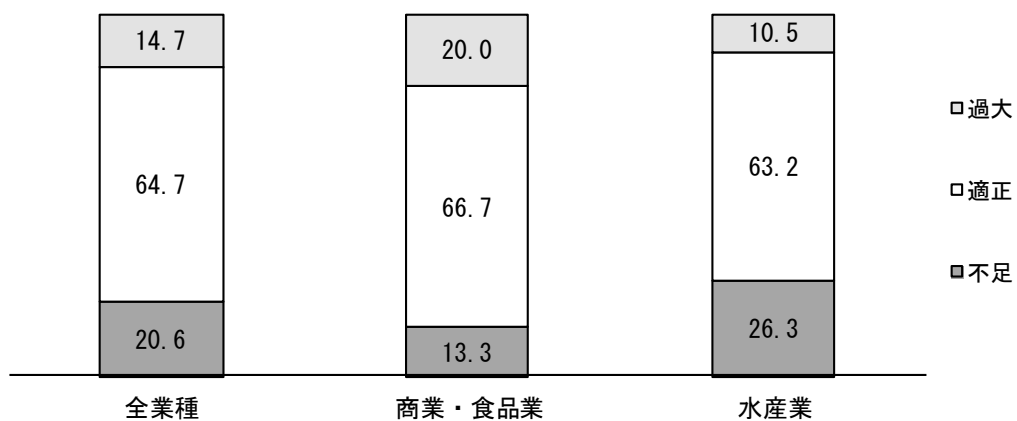
全業種平均でDI値▲4.5〔前年調査時（令和元年10～12月期▲6.9）より2.4ポイント回復〕
商業食品業、水産業、観光・サービス業・諸業で回復。機械工業、建設業は悪化。

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲33.3→▲20.0〕、水産業〔前年▲6.2→16.7〕
機械工業〔前年▲18.2→▲25.0〕、建設業〔前年11.7→▲5.5〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲6.3→4.6〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（2019（令和元）年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

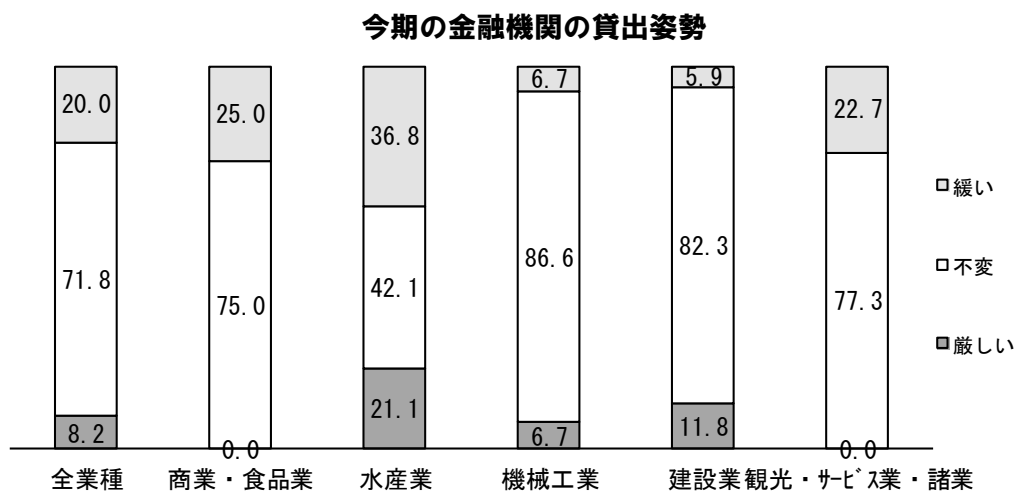


全業種平均でDI値▲5.9〔前年調査時（令和元年10～12月期▲3.6）より2.3ポイント不足傾向〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲10.0→6.7〕、水産業〔前年0.0→▲15.8〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

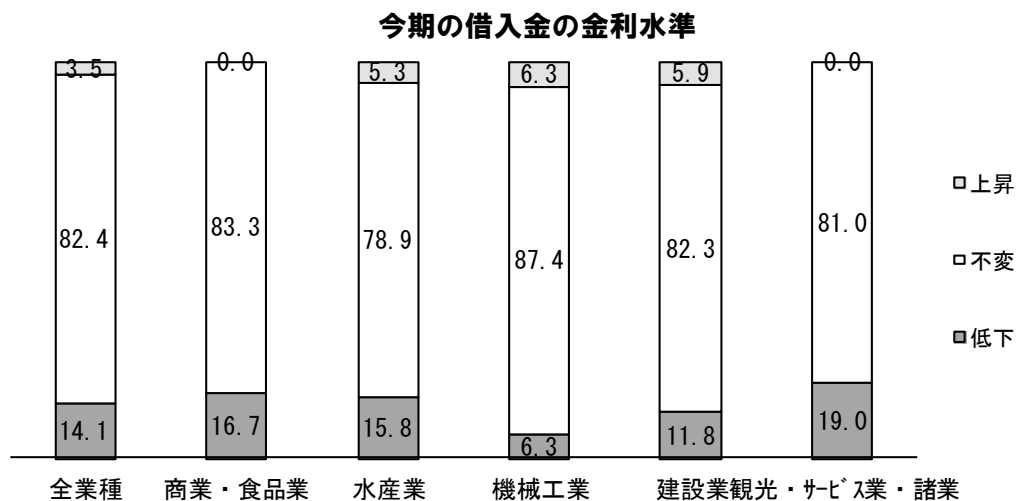
【前年同期比】(2019(令和元)年10月～12月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出姿勢)



全業種平均で **11.8** ポイント。商業食品業 **25.0**、水産業 **15.7**、機械工業 **0.0**、建設業 **▲5.9**、観光・サービス業・諸業 **22.7**。

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】(2019(令和元)年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準)

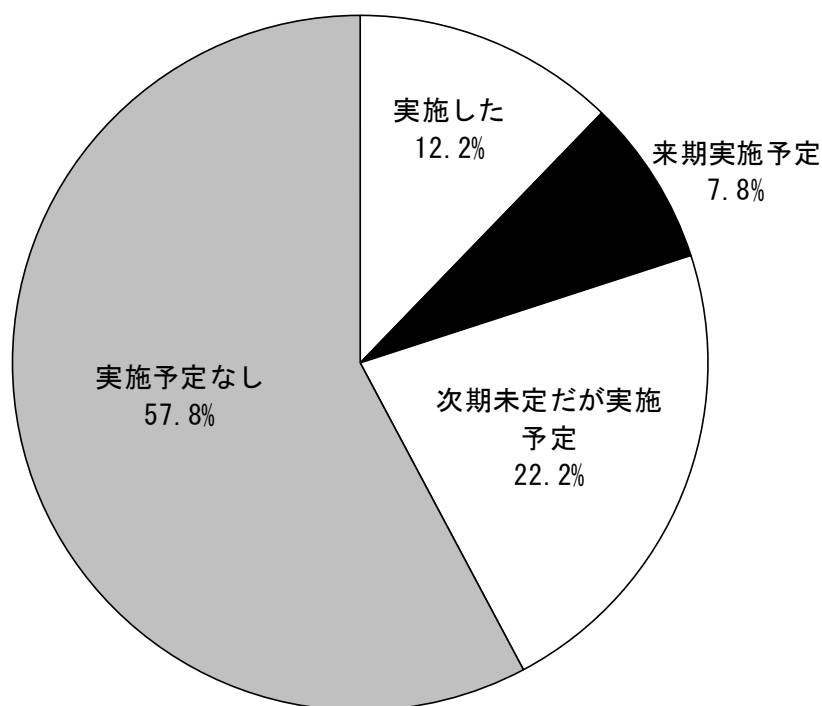


全業種平均で **▲10.6**。商業食品業 **▲16.7**、水産業 **▲10.5**、機械工業 **0.0**、建設業 **▲5.9**、観光・サービス業・諸業 **▲19.0**。

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

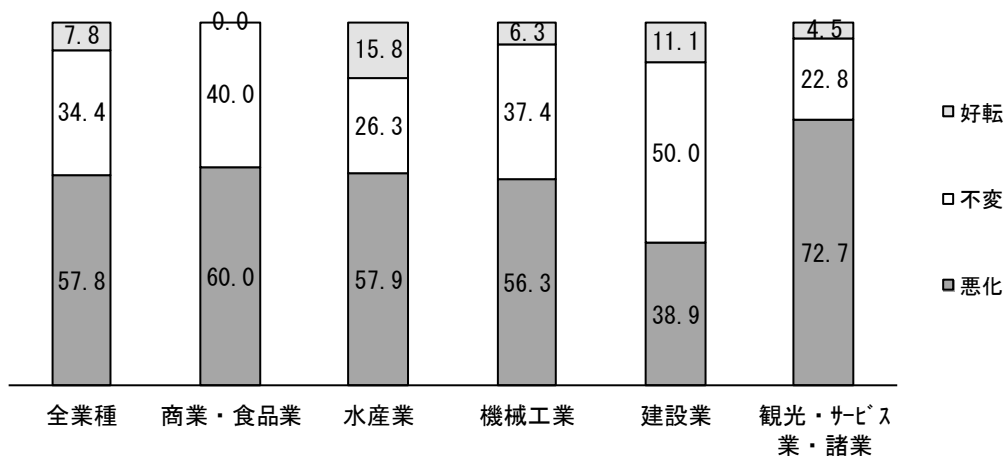


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した来期の業況見通し)

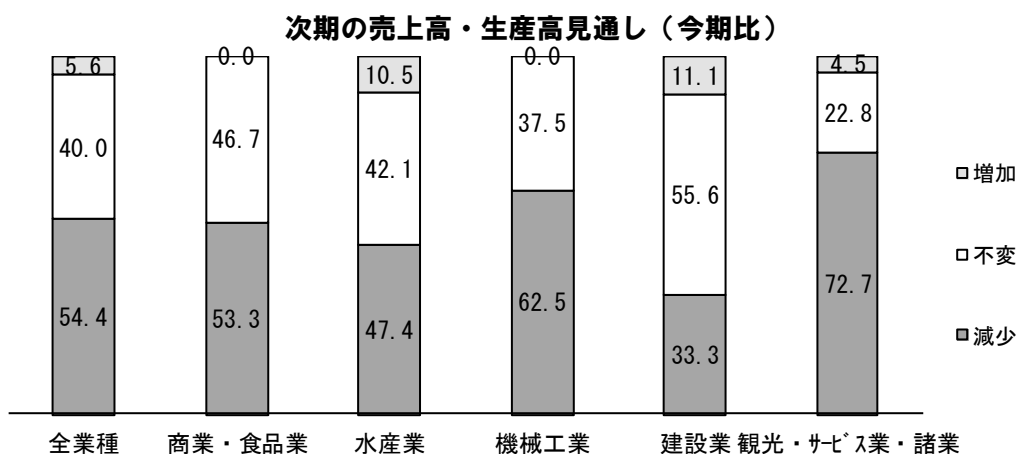
次期の業況見通し(今期比)



全業種平均 DI 値▲50.0 [今期の業況(前年同期比▲27.8)より 22.2ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

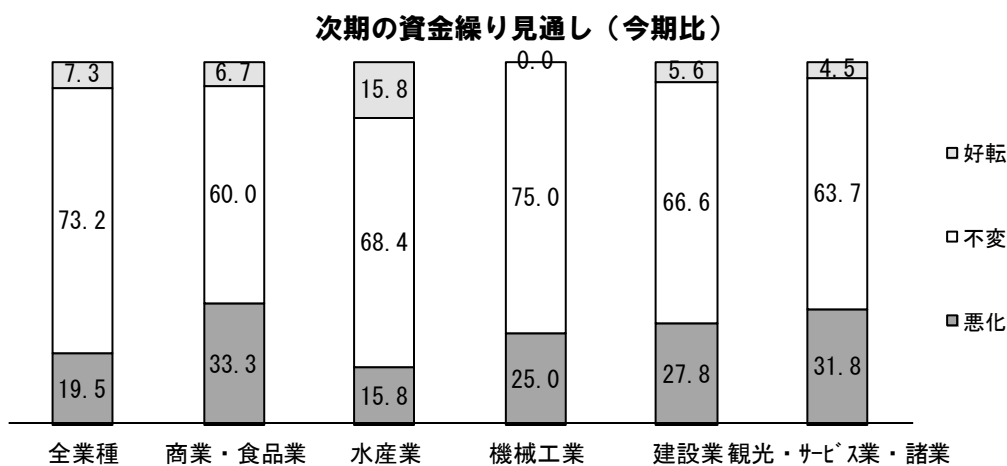
【今期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し)



全業種平均 DI 値 ▲48.8 [今期の売上高・生産高(前年同期比▲30.0)より18.8ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】(2020(令和2)年10月～12月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し)



全業種平均 DI 値 ▲12.2 [今期の資金繰り(前年同期比▲4.5)より7.7ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲27.8	▲66.7	15.7	0.0	▲33.3	▲54.5
	来期見通し	▲50.0	▲60.0	▲42.1	▲50.0	▲27.8	▲68.2
売上・生産 D・I	今期実績	▲30.0	▲53.3	▲5.3	▲12.5	▲27.8	▲50.0
	来期見通し	▲48.8	▲53.3	▲36.9	▲62.5	▲22.2	▲68.2
在 庫 D・I	今期実績	▲5.9	6.7	▲15.8	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲17.8	▲53.3	15.7	▲12.5	▲22.2	▲22.8
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲4.5	▲20.0	16.7	▲25.0	▲5.5	4.6
	来期見通し	▲12.2	▲26.6	0.0	▲25.0	▲22.2	▲27.3
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	11.8	25.0	15.7	0.0	▲5.9	22.7
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲10.6	▲16.7	▲10.5	0.0	▲5.9	▲19.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。